



戦死者(沖縄出身) 12万2228人(内住民) 9万4000人



ドキュメンタリー

沖縄戦

知られざる悲しみの記憶



「朝日のあたる家」「明日にかける橋」

監督:太田隆文

上江洲安昌 知花治雄 上原美智子 照屋勉 長浜ヨシ 川満彰 比嘉キヨ 佐喜眞道夫 真栄田悦子 座間味昌茂
松田敬子 島袋安子 山内フジ 瑞慶覧長方 平良啓子 吉浜忍 平良次子 吉川嘉勝 知花昌一 大城貴代子 他
声の出演: 拝野幸知 嵐嶽崇司 水津亜子

ナレーション:宝田明 斎藤とも子

撮影:三本木久城 吉田良介 音楽:サウンドキッズ 題字:大石千世 制作:青空映画舎 配給・宣伝:渋谷プロダクション 製作:淨土真宗本願寺派(西本願寺)





上原美智子



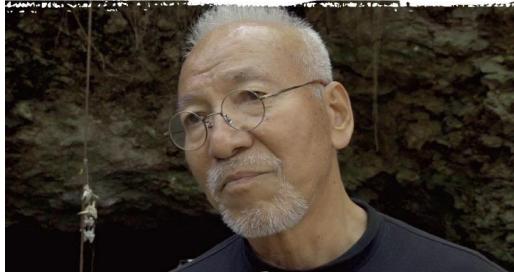
平良啓子



佐喜眞道夫



吉浜 忍



知花昌一



吉川嘉勝



瑞慶覧長方



知花治雄



照屋 勉



川満 彰



平良次子



上江洲安昌

沖縄戦・体験者12人、専門家8人による証言

日本で唯一の地上戦が行われた沖縄。その凄惨な戦闘をほとんどの日本人が知ることなく、75年の年月が経とうとしている。本土への疎開のため多くの子供達が乗った対馬丸がアメリカの潜水艦によって撃沈され1482人が死亡。嘉数高地の戦いでは多くの日本兵、そしてアメリカ兵が戦死。陸軍司令部のあった首里城の攻防。さらには渡嘉敷島で起きた集団強制死。そして摩文仁の丘での牛島司令官の自決。だが、戦闘はそこで終わっていない…。

戦死者20万656人。県民だけを計算すると、当時の人口の3人に1人が死亡したことになる。そんな戦闘はどのようにして始まったのか？ 住民が見つめたものとは何だったのか？ その歴史の記憶を克明に描く。沖縄戦体験者12人の証言と専門家8人による解説。そして米軍が撮影した記録映像を駆使して紹介。

監督は原発事故の悲劇を描いた劇映画「朝日のあたる家」(山本太郎出演)で話題となった太田隆文監督。原発事故に続き、今回は沖縄戦をドキュメンタリーで描く。「米軍が最も恐れた男 その名は、カメリロー」「沖縄スパイ戦史」「主戦場」に続く、戦争ドキュメンタリー作品の傑作。(上映時間1時間45分)



入場無料

本願寺神戸別院1階ホール 9月7日(水)上映会開始 14:00

「御同朋社会めざす運動」(実践運動) 兵庫教区委員会 非戦・平和推進検討委員会 主催